CG-WLCVR54AG2

取扱説明書

PN Y613-07306-02 Rev.A

はじめに

このたびは、「CG-WLCVR54AG2」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本製品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせします。

http://www.corega.co.jp/

添付マニュアルのご紹介

本製品には、次のマニュアルが添付されています。本製品の各マニュアルをよくお読みいただき、本製品を正しくお使いください。

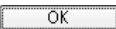
■はじめにお読みください（付属／紙マニュアル）

安全にお使いいただくためのご注意や、添付品の内容、各部の名称と機能、サポートに関する情報などが記載されています。本製品をお使いになる前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

■無線LANネットワークかんたんインストール（付属／紙マニュアル）

本製品の基本的な設定手順が記載されています。

■取扱説明書（付属：ユーティリティディスク収録／PDFマニュアル：本書）

WEPやWPAなどのセキュリティ設定や、ユーティリティの詳細な使用方法、トラブルシューティングなどが記載されています。「無線LANネットワークかんたんインストール」で基本的な設定が完了したあと、必要に応じてご覧ください。

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本製品	CG-WLCVR54AG2 を指します。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　　]	[　　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]

●正式名称について

本書で使用しているソフトウェア名の正式名称は次のとおりです。

Windows® .... Microsoft® Windows® Operating system

Windows® XP .... Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および
Microsoft® Windows® XP Professional operating system

Windows® 2000 .... Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

Windows® Me .... Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system

Windows® 98SE .... Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system

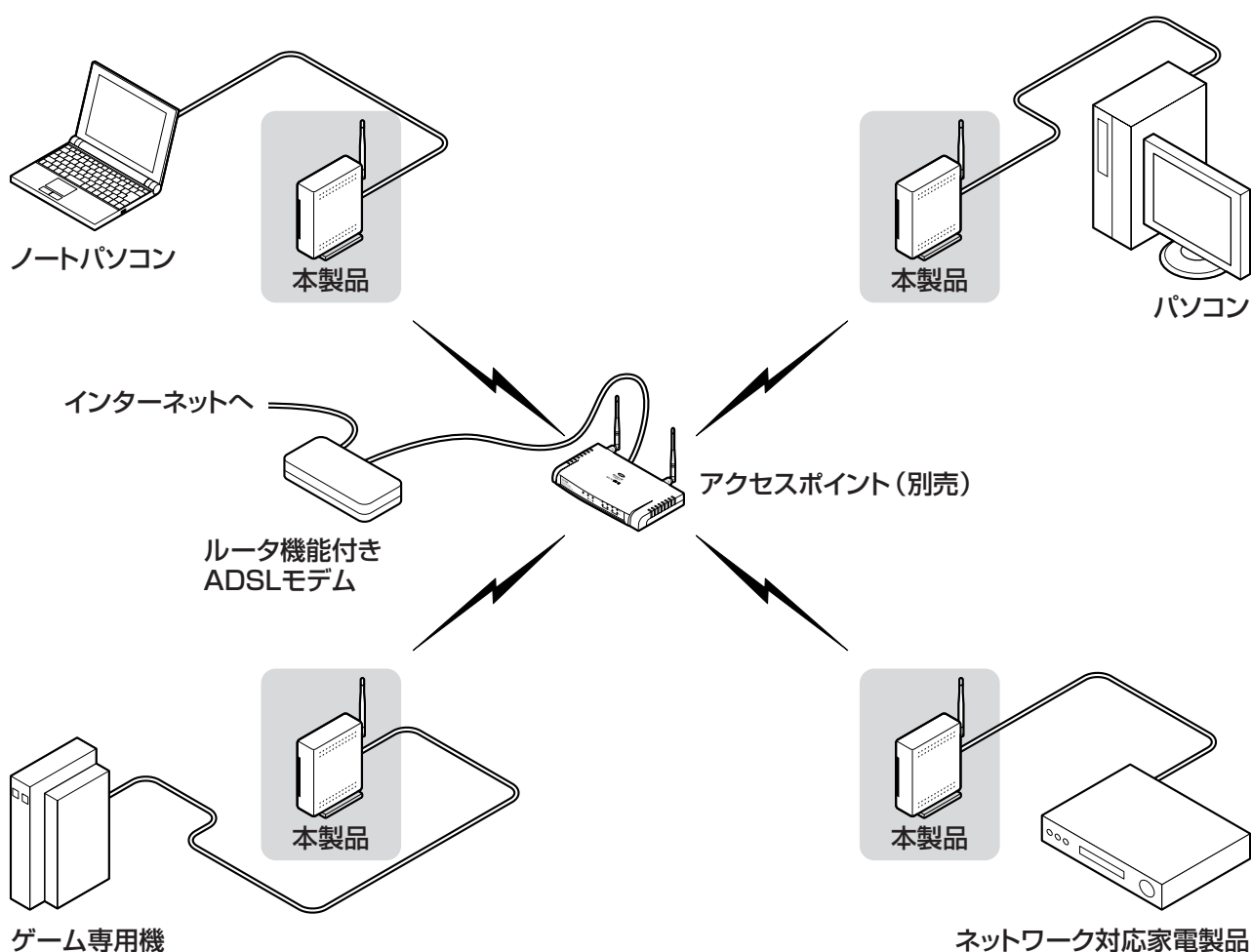
●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目　次

PART 1 まず準備が必要

本製品でできること

本製品は、LAN ポートに接続する IEEE 802.11a（国際標準規格 8ch 対応）、IEEE 802.11g 、IEEE 802.11b 対応の無線 LAN イーサネット変換アダプタです。LAN ポートを搭載したパソコンや、ゲーム専用機などを本製品とLANケーブルで接続していただくと、無線LANに接続することが可能です。さらに、本製品はWEPやWPAといったセキュリティ規格に対応しておりますので、無線通信時に安心してご利用いただけます。

注意
・本製品を無線 LAN アクセスポイントとして使用することはできません。
・本製品をハブに接続しての使用は動作保証の対象外となります。

■「Ad-Hoc」モードについて

「離れた場所にあるパソコン同士でファイル交換ができればいい」という場合にはアクセスポイントは不要です。この場合は、通信モードを「Ad-Hoc」に設定します。「Ad-Hoc」モードはパソコン向けの通信モードですので、本製品をゲーム専用機やネットワーク対応家電製品でご使用される場合は、通信モードを「Infrastructure」に設定してご使用ください。設定方法につきましては「PART3 設定ユーティリティについて」の「無線設定」（P.26）をご覧ください。

本製品は「Infrastructure」モードが工場出荷時に設定されておりますので、「Infrastructure」モードをご使用いただく場合には、通信モードの設定は必要はありません。

使用環境を確認する

本製品を接続する前に、次の項目を確認してください。

チェック1

設定に必要な環境は準備できていますか？

本製品を設定するためには、次の条件を満たしているパソコンが必要です。

・LAN ポートを装備している。
・TCP/IP が組み込まれている。
・Windows XP ／ 2000 ／ Me ／ 98SE のいずれかの OS を搭載している。

本製品をゲーム専用機やネットワーク対応家電製品などに接続する場合も、本製品の設定には上記の条件を満たしているパソコンが必要です。

TCP/IP は、特別な理由で削除していない限り、標準で組み込まれています。

また、Web ブラウザを使用して本製品を設定する場合には、次の条件も必要です。

・Internet Explorer（バージョン 5.5 以降）をインストールしている。

チェック2

本製品を使用する環境は問題ありませんか？

●本製品と無線通信できる無線 LAN 機器（通信相手機器）

IEEE802.11a/g/b 準拠の無線 LAN 製品（ルータなど）と通信できます。

本製品を接続する前に、通信相手の機器で無線 LAN に必要な設定をしておく必要があります。設定方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

接続の可否については、無線 LAN 機器のメーカまたは販売店にお問い合わせください。

●本製品に接続できるネットワーク機器
100BASE-TX ／ 10BASE-T 対応の LAN ポートを装備した機器と接続できます。

〈使用可能な機器の例〉
- パソコン（PC/AT 互換機、PC98-NX など）
- ネットワークプリンタ
- プリントサーバ
- ゲーム専用機
- ネットワーク対応家電製品

チェック3

通信距離は問題ありませんか？

本製品の最大通信距離は、理論上、屋外で 150m 、屋内で 50m です。本製品を取り付けるパソコンと、通信相手の機器との距離が離れすぎたり、周辺に障害物がないかご確認ください。また、IEEE 802.11aは電波法により屋外では使用できませんので、ご注意ください。

メモ　周辺の環境（障害物など）、通信相手機器の性能、通信相手機器との距離などにより、通信速度、距離が大きく変動します。

チェック4

設定に必要な情報は準備できていますか？

本製品の設定をするには、無線LANのセキュリティ情報などが必要になる場合があります。次の項目をご確認ください。

項目名	内容
ESSID	無線LANに接続する機器を識別する名前です。「SSID」と呼ばれることもあります。通信相手の機器と同じ設定にする必要がありますので、ESSID が設定されている場合は名称をご確認ください。
WEP（通信相手にも設定されている場合）	通信するデータを保護するための暗号です。暗号キー（WEPキー）は、通信相手の機器と同じ設定にする必要がありますので、通信相手の機器に WEP が設定されている場合は、設定されている暗号キーをご確認ください。
WPA（通信相手にも設定されている場合）	通信するデータを保護するための暗号です。一定時間ごとに更新されますので、WEP より解読されにくくなります。通信相手機器に WPA が設定されている場合は、同じ設定にする必要がありますので、設定されている暗号キーをご確認ください。

企業などで既存の LAN に無線で接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な情報を準備してください。

設定用パソコンの準備をしよう

本製品の設定は、本製品とパソコンを直接LANケーブルで接続して行います。1台のパソコンを本製品の設定用パソコンとして準備してください。本製品の設定が工場出荷時の状態の場合には、設定用パソコンを次のように設定することで本製品の設定が可能です。

項目名	内容
IPアドレス	「192.168.1.235」を除く、「192.168.1.1」から「192.168.1.254」のいずれかに設定
サブネットマスク	「255.255.255.0」に設定

また、本書では設定用パソコンのIPアドレスとサブネットマスクを、次の表の数値に設定したものとして説明します。設定の際には、お使いの環境に合わせた数値に設定してください。

項目名	内容
IPアドレス	192.168.1.3
サブネットマスク	255.255.255.0

- **パソコンの設定を行う前に、現在のネットワーク設定を控えておいてください。**
- **ここで行ったネットワーク設定は、本製品を設定するための一時的な設定です。設定用パソコンを実際のネットワーク環境で使用する場合には、本製品の設定完了後にパソコンの設定を元に戻してください。**
- **本製品の工場出荷時のIPアドレスは「192.168.1.235」です。ご使用になるネットワーク環境で、これと同じIPアドレスを持つ機器が存在する場合は、本製品のIPアドレスを影響のない値に変更してください。**

設定条件を確認後、ご使用のOSに応じて該当するのページに進み、設定用パソコンのネットワーク設定をしてください。

・Windows XP／2000の場合→P.10
・Windows Me／98SEの場合→P.11

■Windows XP／2000の場合

Windows XP や Windows 2000 では、「コンピュータの管理者」や「Administrator」、または同等の権限を持つユーザ名で設定用パソコンにログオンしてください。ユーザ権限については、OS の取扱説明書をご覧ください。

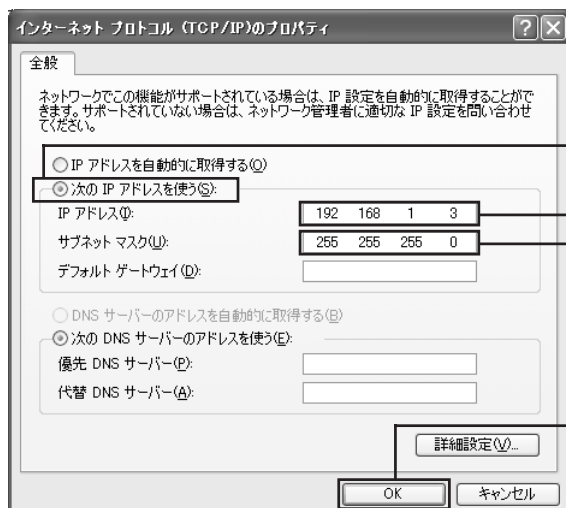
1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします（Windows 2000の場合は、「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします）。

2 「コントロールパネル」から「ネットワークとインターネット接続」－「ネットワーク接続」をクリックします（Windows 2000の場合は、「コントロールパネル」にある「ネットワーク接続」をダブルクリックします）。

Windows XP で「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

3 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

4 「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

5 「次のIPアドレスを使う」を選択し、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をして［OK］をクリックします。

6 「ローカル エリア接続のプロパティ」画面で、[OK] をクリックします。

7 再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、パソコンを再起動します(ダイアログボックスが表示されなかった場合も、手動で再起動してください)。

以上で設定用パソコンのネットワーク設定はこれで完了です。次に「本製品と設定用パソコンを接続する」(P.13)に進んでください。

■Windows Me／98SEの場合

注意 **ここでは例としてWindows Meを使用していますが、Windows 98SEも同様の手順となります。**

1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

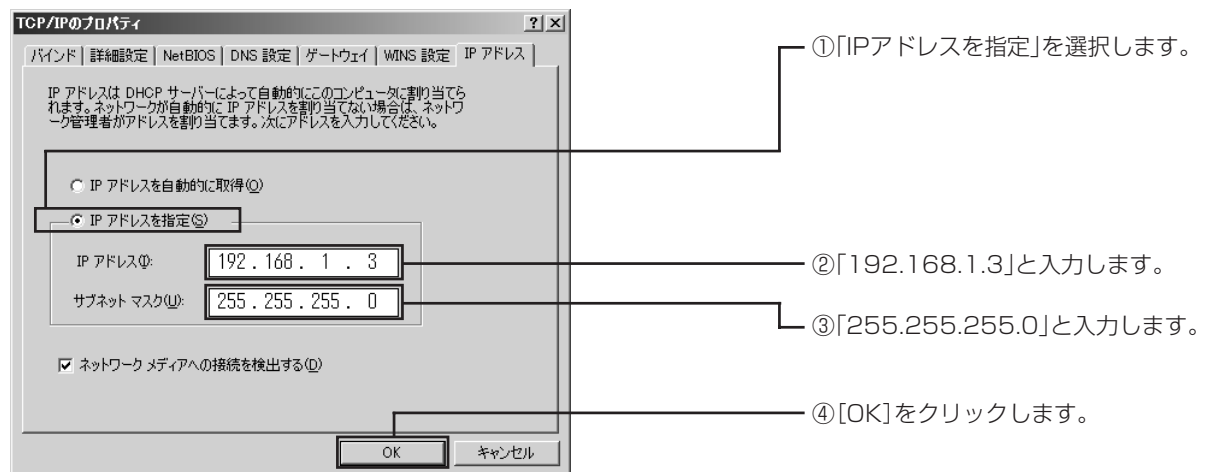
メモ **Windows Meで「ネットワーク」が表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。**

2 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックします。

3 「TCP/IP －> XXXXXX」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

注意 **上の画面のように、認識されているネットワークアダプタが1台しかない場合は、ネットワークアダプタ名が表示されない場合があります。**

メモ **「TCP/IP －> XXXXXX」の「XXXXXX」の部分は、ご使用のネットワークアダプタ名が表示されます**

4 「IPアドレス」タブをクリックし、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をして［OK］をクリックします。

5 「ネットワーク」画面の［OK］をクリックします。

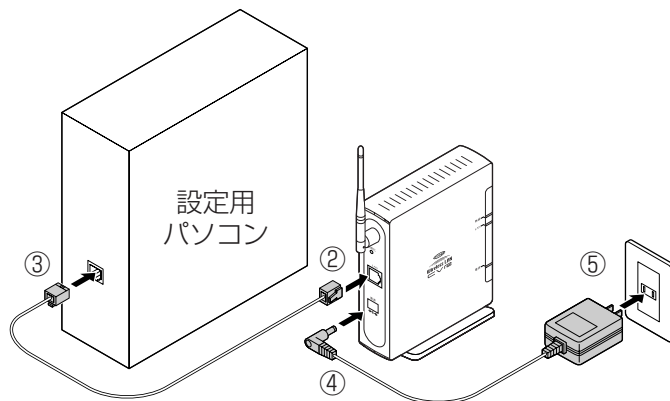
メモ **「Windows の OS 用ディスクを入れてください」という旨のメッセージが表示された場合は、ディスクを CD-ROM ドライブにセットし、画面の指示にしたがって操作してください。**

6 再起動を促すダイアログボックスが表示された場合はパソコンを再起動します（ダイアログボックスが表示されなかった場合も、手動で再起動してください)。

以上で設定用パソコンのネットワーク設定はこれで完了です。次に「本製品と設定用パソコンを接続する」（P.13）に進んでください。

本製品と設定用パソコンを接続する

本製品をパソコンに接続して設定を行います。次の手順で本製品と設定用パソコンをLANケーブルで接続してください。

① 本製品と設定用パソコンの電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

② 本製品の LAN ポートに付属の LAN ケーブルを接続します。

③ LAN ケーブルのもう一方をパソコンの LAN ポートに接続します。

④ 本製品の DC ジャックに専用 AC アダプタを接続します。

⑤ 本製品の AC アダプタをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。電源を入れた後に、本製品の電源 LED と LAN LED が点灯していることを確認してください。

LED が点灯しない場合は、「PART4 トラブルや疑問があったら」(P.36)をご覧ください。

⑥ パソコンの電源を入れます。

以上で設定用パソコンとの接続は完了しました。本製品の設定をする場合、付属のユーティリティディスクからインストールする「コレガWLCVR設定ユーティリティ」を使用する方法と、Webブラウザを使用して本製品に内蔵されている設定ユーティリティを使用する方法があります。「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」を使用する場合は「PART2「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」について」(P.14)へお進みいただき、Webブラウザを使用する場合は「PART3 設定ユーティリティについて」(P.22)へお進みください。

PART 2 「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」について

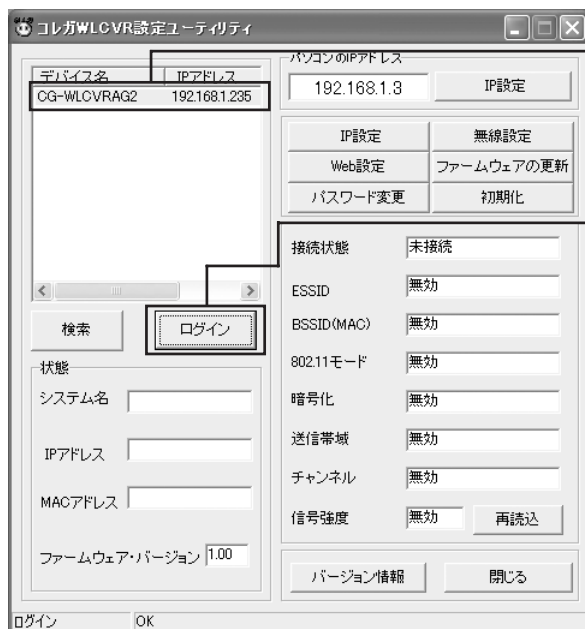
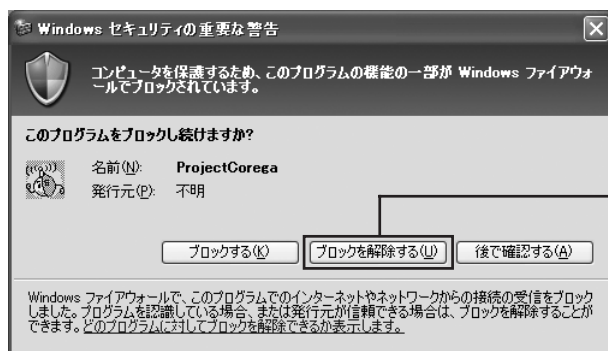
このPARTでは、本製品に付属している「コレガWLCVR設定ユーティリティ」の説明をいたします。お使いのパソコンに「コレガWLCVR設定ユーティリティ」がインストールされていない場合は、付属の「無線LANかんたんインストールガイド」をご覧いただき、「コレガWLCVR設定ユーティリティ」をパソコンにインストールしてください。

本製品を設定する場合は、本製品と設定用パソコンのみを接続して設定することを推奨いたします。接続方法については「PART1 まず準備が必要」の「本製品と設定用パソコンを接続する」（P.13）をご覧ください。

「コレガWLCVR設定ユーティリティ」を起動する

「コレガWLCVR設定ユーティリティ」を起動します。次の手順で起動してください。

1 「スタート」－「プログラム」（Windows XPでは「すべてのプログラム」）－「コレガWLCVR設定ユーティリティ」－「コレガWLCVR設定ユーティリティ」をクリックします。

2 「コレガWLCVR設定ユーティリティ」が起動しますので、検索欄に表示された本製品の名称を選択し、[ログイン］をクリックします。

Windows XP SP2 をお使いの場合、最初に「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」を起動させたときに次のような画面が表示されることがあります。表示された場合は［ブロックを解除する］をクリックしてください。

3　パスワードを入力する画面が表示されますので、パスワード欄に何も入力せずに［OK］をクリックします。

以上で「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」を起動し、本製品を設定する準備ができました。画面のボタンや機能については「「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」の機能について」（P.15）をご覧ください

「コレガWLCVR設定ユーティリティ」の機能について

「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」の各ボタンの機能は次のとおりです。

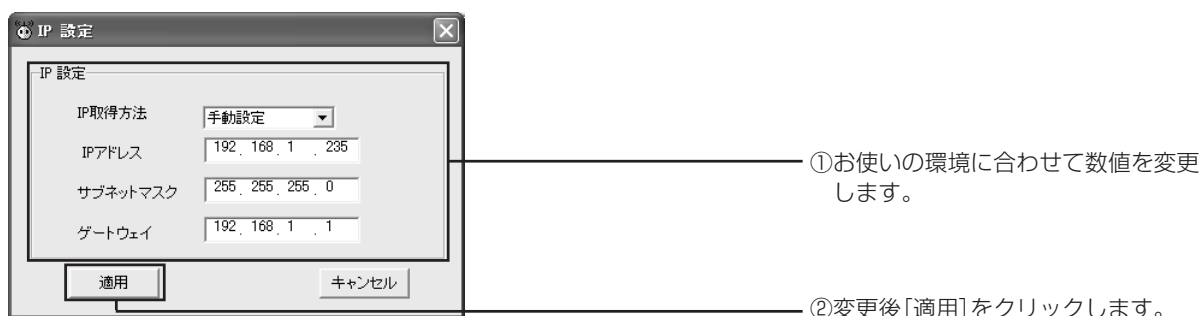
項目名	内容
①検索欄	ネットワーク上の本製品を表示します。
② IP 設定（本製品）	選択された本製品の IP アドレスを変更することができます。
③ Web 設定	本製品に内蔵されている設定ユーティリティ画面を表示します。
④パスワード変更	本製品のパスワードの変更をすることができます。
⑤検索	同一のネットワーク内にある本製品を再検索します。
⑥ログイン	①に表示された本製品を選択し、クリックすると本製品の状態が表示されます

項目名	内容
⑦ IP 設定（パソコン）	「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」を起動しているパソコンの IP アドレスを変更することができます。
⑧無線設定	本製品のESSIDの変更やセキュリティの設定を行うことができます。
⑨ファームウェアの更新	最新のファームウェアにアップデートすることができます。
⑩初期化	本製品を工場出荷時の状態に戻すことができます。
⑪再読込	本製品の設定内容を読み込みます。
⑫バージョン情報	「コレガWLCVR設定ユーティリティ」のバージョン情報を表示します。
⑬閉じる	ウィンドウを閉じて、「コレガWLCVR設定ユーティリティ」を終了します。

■検索欄

パソコンに接続した本製品が表示されます。表示されない場合は［検索］（P.17）をクリックし、それでも表示されない場合は「PART4 トラブルや疑問があったら」（P.36）をご覧ください。

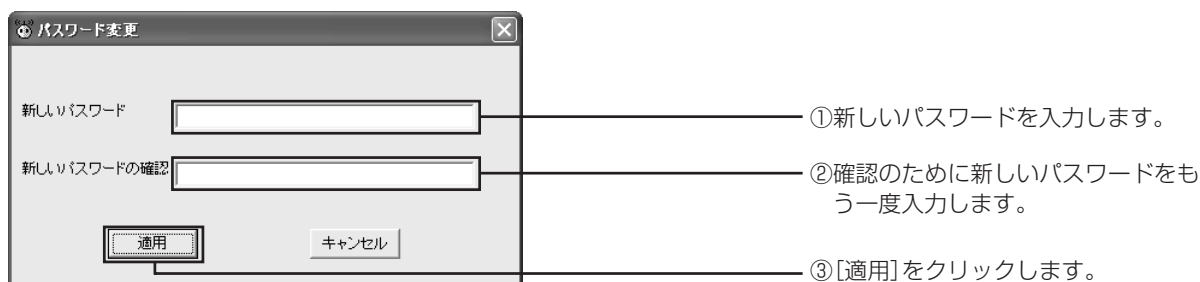
■IP設定（本製品）

クリックすると次の画面が表示され、本製品のIPアドレスに関する設定ができます。お使いの環境に合わせて変更してください。変更後は［適用］をクリックします。

本製品の IP アドレスは、設定の際に本製品を認識するためのアドレスです。ネットワーク上で本製品の工場出荷時に設定されているアドレスが使用されている場合以外、通常は変更の必要はありません。

■Web設定

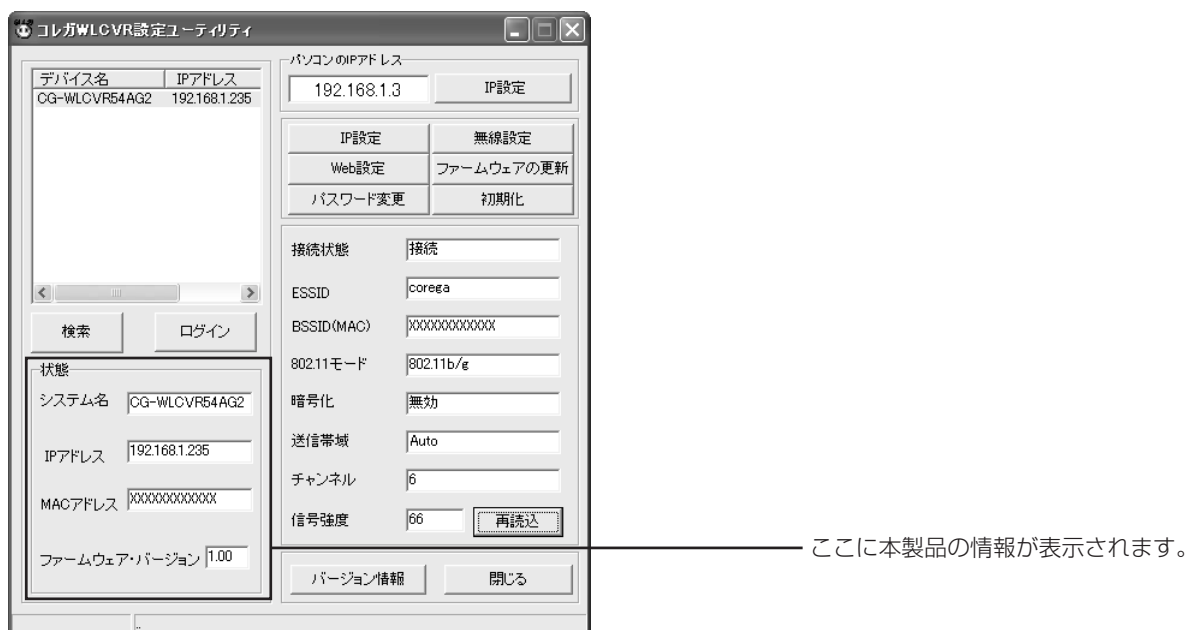
クリックすると、本製品内蔵の設定ユーティリティの画面を呼び出します。ログイン方法や内蔵の設定ユーティリティについての詳細は「PART3 設定ユーティリティについて」（P.22）をご覧ください

■パスワード変更

クリックすると次の画面が表示され、本製品にログインする際のパスワードが変更できます。変更後は［適用］をクリックします。

■検索

検索欄に本製品が表示されていない場合、クリックして本製品を再度検索します。

■ログイン

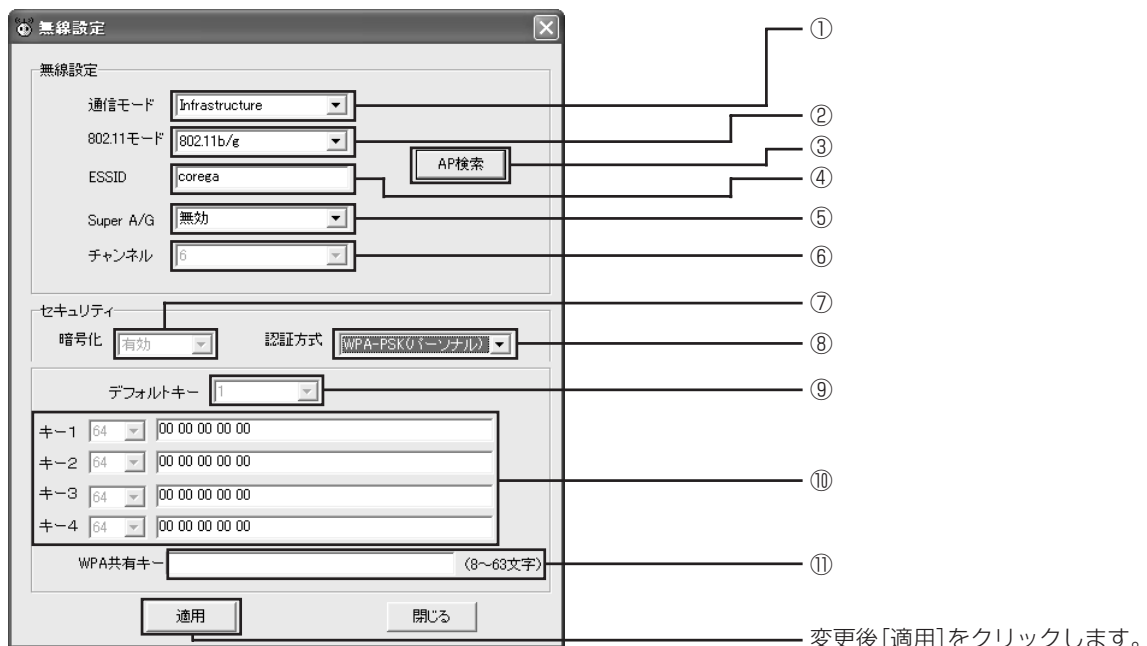
本製品を設定する場合に、検索欄に表示された本製品の製品名をクリックした後にクリックします。ログインが完了すると、次の画面のように、本製品の情報が表示されます。

注意 **検索欄に表示されている製品名を選択しないで［ログイン］をクリックすると、次の画面が表示されますので、［OK］をクリックしてメイン画面に戻ってください。**

■IP設定(パソコン)

クリックすると次の画面が表示され、お使いのパソコンのIPアドレスに関する設定ができます。お使いの環境に合わせて変更してください。変更後は［OK］をクリックします。

この機能は Windows XP ／ 2000 でのみお使いいただけます。

■無線設定

クリックすると次の画面が表示され、無線LANに関する設定ができます。お使いの環境に合わせて変更してください。変更後は［適用］をクリックします。

項目名	内容
①通信モード	無線LANの通信モードを選択できます。アクセスポイントに接続する場合は「Infrastructure」を、アクセスポイントを介さずに機器間で通信する場合には「Ad-Hoc」を選択してください。
② 802.11 モード	無線 LAN の通信規格を選択します。
③ AP 検索	クリックすると、アクセスポイントの一覧が別画面で表示されます。接続したいアクセスポイントを選択して［適用］をクリックしてください。
④ ESSID	無線LANに接続する機器を識別する名称です。接続する全ての機器に同じ名称を設定してください。変更する場合にはESSIDの入力欄に直接入力してください。
⑤ Super A/G	「有効」に設定すると「Super A/G」および「Super G」モードを搭載した無線機器と通信した時、バースト転送およびデータ圧縮を行い、通信速度を向上させます。
⑥チャンネル	①で通信モードを「Ad-Hoc」に設定した時に、使用するチャンネルを変更することができます。
⑦暗号化	「有効」を選択すると、無線通信時のセキュリティが設定できます。 ※工場出荷時は「無効」に設定されています。お使いの際には「有効」を選択して、セキュリティを設定することをおすすめいたします。
⑧認証方式	設定するセキュリティの認証方式を選択します。
⑨デフォルトキー	WEP を使用する場合に、⑪で WEP キー（暗号キー）を設定後、初回アクセスする暗号キーを「キー 1 ～ 4」から選択します。 ※ 128bit と 152bit ではキー 1 のみ使用できます。
⑩ WEP キー	「キー 1 ～ 4」の右の欄で暗号強度（64bit ／ 128bit ／ 152bit）を選択し、暗号強度に合わせた 16 進数の ASCII 文字を左の入力欄に入力します。暗号強度による入力可能な文字数は、64bit が半角 10 文字、128bit が半角 26 文字、152bit が半角 32 文字となります。 ※ 128bit と 152bit ではキー 1 のみ使用できます。
⑪ WPA 共有キー	通信相手と同じ暗号キーを入力してください。共有キーには 8 ～ 64 文字までの半角英数字、記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、！” ＃＄％＆ ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [￥] ^ _ { ¦ } ˜) が使用できます。 ※⑨で「WPA-PSK」を選択した場合のみ表示されます。

■ファームウェアの更新

本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアを弊社ホームページ(http://www.corega.co.jp/)から入手した場合、次の手順でファームウェアを更新してください。

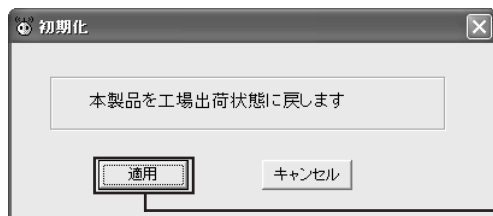
・ファームウェアを更新する前に、本製品の設定内容を控えてください。
・ファームウェアを更新中は、他の操作を行ったり、本製品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアの更新に失敗したり、本製品の故障の原因となる場合があります。

1 「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」を起動し、[ファームウェアの更新] をクリックします。

2 ファイル名の入力欄に直接ファイルの保存先を入力するか、[開く] をクリックしてファイルの保存先を指定し、[適用] をクリックします。

3 「更新状況」にゲージが表示され、ファームウェアの更新が始まります。

■初期化

クリックすると次の画面が表示され、[適用] をクリックすると本製品が工場出荷時の状態に戻ります。

工場出荷時の設定に戻す場合は[適用]をクリックします。

本製品を工場出荷時の状態に戻した場合、今まで設定していた情報はすべて無効になり、再度設定する必要があります。重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように控えておくことをおすすめします。

■再読込

クリックすると、ログインした本製品の設定内容を読み込み、最新の状態を表示します。

■バージョン情報

クリックすると「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」のバージョン情報が確認できます。確認後は［OK］をクリックすると画面が閉じます。

■閉じる

クリックすると、ウィンドウを閉じて「コレガ WLCVR 設定ユーティリティ」を終了します。

PART 3

設定ユーティリティについて

本製品には、設定ユーティリティが内蔵されています。設定ユーティリティではセキュリティなど、本製品の詳細な設定が行えます。

Webブラウザで設定しよう

■設定ユーティリティを開く

本製品の設定ユーティリティは、Internet ExplorerなどのWebブラウザから起動します。次の手順を行ってください。

例では本製品が工場出荷時の状態として説明しています。本製品のIPアドレスやパスワードなどを変更している場合は、変更した値を入力してください。

1 Internet Explorerを起動し、アドレス欄に「192.168.1.235」と入力して、[移動]をクリックします。

2 ログイン画面が表示されますので、ユーザー名に「root」と入力し、パスワード欄は空欄のまま[OK]をクリックします。

3　設定ユーティリティが起動します。

●設定方法

各設定画面で設定を変更したら、［適用］（または［保存］）をクリックし、本製品を再起動してください。再起動の方法は、「システム再起動」（P.33）をご覧ください。

- **設定ユーティリティの各設定画面を切り替えるときは、十分な時間間隔をおいてクリックしてください。短い間隔で設定画面を切り替えようとすると、誤動作の原因となります。**
- **設定画面が切り替わらないなど、設定途中で本製品にアクセスできなくなった場合は、本体背面の初期化スイッチを押して、工場出荷時に戻して設定しなおしてください。詳しくは「システム初期化」（P.34）をご覧ください。**

●設定ユーティリティを終了する

本製品の設定終了後、Web ブラウザを終了すると、設定ユーティリティを終了できます。

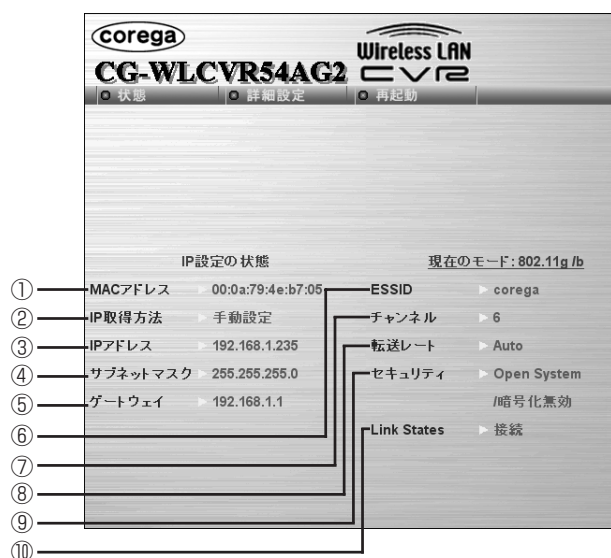
Webブラウザでの設定項目について

Web ブラウザでは、次の設定ができます。

メニュー名	おもな機能
状態	設定ユーティリティ起動時の画面です。本製品の現在の設定値を確認できます（P.24）。
詳細設定	本製品で無線LANに接続するためのいろいろな設定や、ファームウェアのアップデートを行います（P.25）。
再起動	本製品の再起動を行います（P.33）。

メモ　**説明で使用している画面および画面内の数値は、例として紹介しています。実際にはご使用の環境に合った値を入力してください。**

■状態

設定ユーティリティ起動時の画面です（メニューバーの「状態」をクリックした場合もこの画面が表示されます）。本製品の現在の設定値が確認できます。

項目名	説明
① MAC アドレス	本製品の MAC アドレスが表示されます。
② IP 取得方式	DHCP（自動取得）、手動取得（固定）のいずれかを表示します。「IP アドレス」画面で設定します（P.25）。 ※工場出荷時は「手動設定」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
③ IP アドレス	本製品に設定されている IP アドレスが表示されます。IP アドレスは「IP アドレス」画面で設定します（P.25）。
④サブネットマスク	本製品に設定されているサブネットマスクが表示されます。
⑤ゲートウェイ	使用しているネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを表示します。
⑥ ESSID	本製品に設定されている ESSID が表示されます。ESSID は「無線設定」画面で設定します（P.26）。
⑦チャンネル	本製品の現在のチャンネルが表示されます。チャンネルは「無線設定」画面で設定します（P.26）。
⑧転送レート	無線 LAN で本製品が通信するときの本製品の転送速度です。 ※工場出荷時は「Auto」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
⑨セキュリティ	本製品の現在の認証方式を表示します。
⑩ Link States	本製品の接続状態を表示します。

■詳細設定

〈CVR 設定〉
本製品のいろいろな設定を行います。

● IP アドレス
本製品の IP アドレスやサブネットマスクなどの設定を行えますが、通常は変更する必要はありません。

1 「詳細設定」－「CVR 設定」－「IP アドレス」をクリックします。

項目名	入力例	説明
① MAC アドレス	－	本製品 MAC アドレスが表示されます。
② IP 取得方法	手動設定	本製品の IP 取得方法を選択します。 ・手動設定：「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を手動で設定します。 ・DHCP：IP アドレスを自動的に取得します。 ※工場出荷時は「手動設定」に設定されています。
③ IP アドレス	192.168.1.235	本製品の IP アドレスを入力します。 ※工場出荷時は「192.168.1.235」に設定されています。
④サブネットマスク	255.255.255.0	本製品が使用しているネットワークのサブネットマスクを入力します。 ※工場出荷時は「255.255.255.0」に設定されています。
⑤ゲートウェイ	192.168.1.1	使用しているネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。通常は他のネットワークとの接続に使用しているルータの LAN 側 IP アドレスとなります。 ※同一 LAN 内のパソコンからのみ本製品を使用する場合、変更する必要はありません。 ※工場出荷時は「192.168.1.1」に設定されています。

2 設定後、［適用］をクリックし、本製品を再起動して設定を反映させせます。

●無線設定
本製品のより高度な設定を行います。

各設定項目について十分に理解して変更を行ってください。不用意に変更を行うと、通信ができなくなる場合があります。

1 「詳細設定」－「CVR 設定」－「無線設定」をクリックします。

項目名	入力例	説明
①通信モード	Infrastructure	無線LANの通信モードを選択します。「Ad-Hoc」と「Infrastructure」が選択できます。
② ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。接続する全ての無線 LAN アダプタに同じ名前を設定してください。 ※工場出荷時は「corega」に設定されています。
③周波数	－	チャンネルで設定した周波数を表示します。
④チャンネル	－	本製品が使用するチャンネルを設定します。①で通信モード通信モードを「Ad-Hoc」に設定した場合のい「802.11a」の時は、34、38、42、46のいずれかを、「802.11g/b」の時は1～13の間で任意の値に変更できます。 ※チャンネルによって通信に使用する電波の周波数が異なります。
⑤転送レート	Auto	無線 LAN で本製品が通信するときの本製品の転送速度が表示されます。
⑥ Super A/G	無効	「有効」に設定すると「Super A/G」モードを搭載した無線機器と通信した時、バースト転送およびデータ圧縮を行います。 ※「Ad-Hoc」モード設定時では「無効」のみとなります。

2 設定後、［適用］をクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

●セキュリティ
本製品のWEPやWPAなどの設定を行います。無線通信する相手先機器（無線ルータや無線アクセスポイント）に合わせて設定を行ってください。

無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。このようなことがないようにWEPやWPA設定を行うことをおすすめいたします。

【WPAを設定する】
「認証方式」の「WPA-PSK（パーソナル)」を設定する場合は、次のように設定をします。また、本製品で設定可能なWPAは「PSK」のみとなります。

- **WPAは、暗号プロトコル（TKIP）を採用したセキュリティ規格です。一定時間ごとに通信内容の暗号を更新するのでWEPより解読されにくくなります。**
- **PSKは、一般家庭向きのWPA規格です。ユーザが任意で設定した認証キーに基づいて通信内容を暗号化し、TKIPを使用し、通信データの暗号化を一定時間ごとに更新します。**

項目名	説明
①認証方式	「WPA-PSK（パーソナル)」を選択します。
② WPA共有キー	任意の暗号キーを入力してください。共有キーには８～64文字までの半角英数字、記号（０～９、a～z、A～Z、！”＃＄％＆’( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { ¦ } ˜ ）が使用できます。
③ WPA暗号方式	本製品の暗号方式を設定します。 ※本製品で設定できる方式は「TKIP」のみとなります。 TKIP：一定時間ごとに暗号キーを変更する暗号化プロトコルです。

- **WPA-PSK（パーソナル）は「Ad-Hoc」モード設定時では「無効」となります。**
- **本製品の工場出荷時は、WPA-PSK（パーソナル）は設定されていません。**

2　設定後、［適用］をクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

【WEP を設定する】

WEP キーは、通信内容（データ）を保護するための暗号です。WEP によって通信内容を暗号化すると、仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。本製品は、「64／128／152Bits」に対応しています。暗号キーの桁が多くなるにつれ、安全性が高くなります。

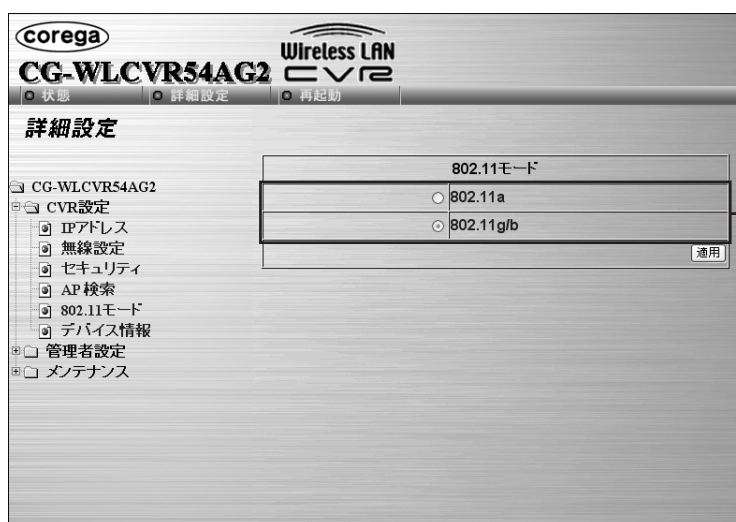
1　「詳細設定」－「CVR 設定」－「セキュリティ」をクリックします。

項目名	説明
①認証方式	「Shared Key」か「Auto」を選択します。 ※工場出荷時は「Open System」に設定されています。
② WEP 暗号化	①で「Shared Key」を選択すると自動的に「有効」になり、「Open Sytem」と「Auto」を選択すると、「無効」と「有効」が選択できます。
③ WEP 暗号強度	64Bits、128Bits、152Bits のいずれかを選択できます。
④ WEP キー	デフォルトキーを 1 ～ 4 のいずれかを選択し、同じキーの番号に③ので設定した暗号強度に合わせて暗号キーを入力します。 64Bits：16 進数（0 ～ 9、a ～ f）で 10 桁が利用可能。 128Bits：16 進数（0 ～ 9、a ～ f）で 26 桁が利用可能。 152Bits：16 進数（0 ～ 9、a ～ f）で 32 桁が利用可能。 ※ 128Bits と 152Bits を選択した場合、デフォルトキーはキー 1 のみ利用できます。

本製品の工場出荷時は、WEP は設定されていません。

2　設定後、［適用］をクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

● AP 検索
接続可能なアクセスポイントの検索ができます。

1　「詳細設定」－「CVR 設定」－「AP 検索」をクリックします。

・「ステルス AP」が設定されているアクセスポイントの ESSID は表示されません。
・リストには「802.11 モード」で選択された無線 LAN 規格のネットワークのみ表示されます。

2　設定後、［適用］をクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

● 802.11 モード
無線 LAN の通信モードの切り替えができます。

1　「詳細設定」－「CVR 設定」－「802.11 モード」をクリックします。

項目名	説明
① 802.11 モード	本製品の無線 LAN の通信規格を設定します。IEEE802.11a か IEEE802.11g/b を選択します。 ※工場出荷時は IEEE802.11g/b が設定されています。

2　設定後、［適用］をクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

●デバイス情報

本製品のシステム名の変更やシステム情報を表示します。システム名を変更する場合は、次の手順を行ってください。

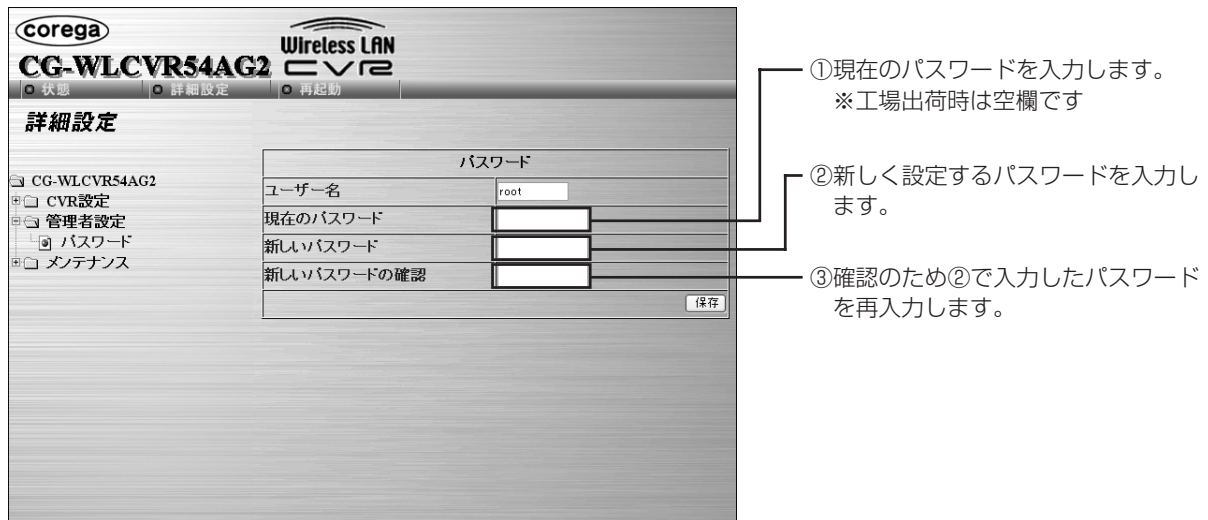
1　「詳細設定」－「CVR 設定」－「デバイス情報」をクリックします。

2　「システム名」を入力します。システム名には 39 文字までの半角英数字、記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、! ” # $ % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { ¦ } ˜) が使用できます。

3　設定後、［適用］をクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

〈管理者設定〉
パスワードの設定を行います。

●パスワード
パスワードの設定を変更することができます。

1 「詳細設定」−「管理者設定」−「パスワード」をクリックします。

・パスワードには、15文字までの半角英数字、記号（0〜9、a〜z、A〜Z、！”＃＄％＆’( )＊＋, - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ {¦}˜）が使用できます。大文字／小文字が区別されますので注意してください。
・入力したパスワードは、画面上では「●」で表示されます。

2 設定後、[保存] をクリックし、本製品を再起動して設定を反映させてください。再度ユーティリティを開くときには、新しく設定したパスワードを入力して［OK］をクリックします。

入力したパスワードは、画面上では「＊」で表示されます。

〈メンテナンス〉
ファームウェアの更新や、本製品の再起動、初期化ができます。

●ファームウェアの更新
本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアは弊社ホームページ（http://www.corega.co.jp/）から入手してください。

- ファームウェアを更新する前に、本製品の設定内容をメモしておいてください。
- ファームウェアを更新中は、他の操作を行ったり、本製品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアの更新に失敗したり、本製品の故障の原因となる場合があります。

ここでは例として「C:¥corega」（Cドライブの中のcoregaフォルダ内）に最新のファームウェアを保存した場合で説明します。

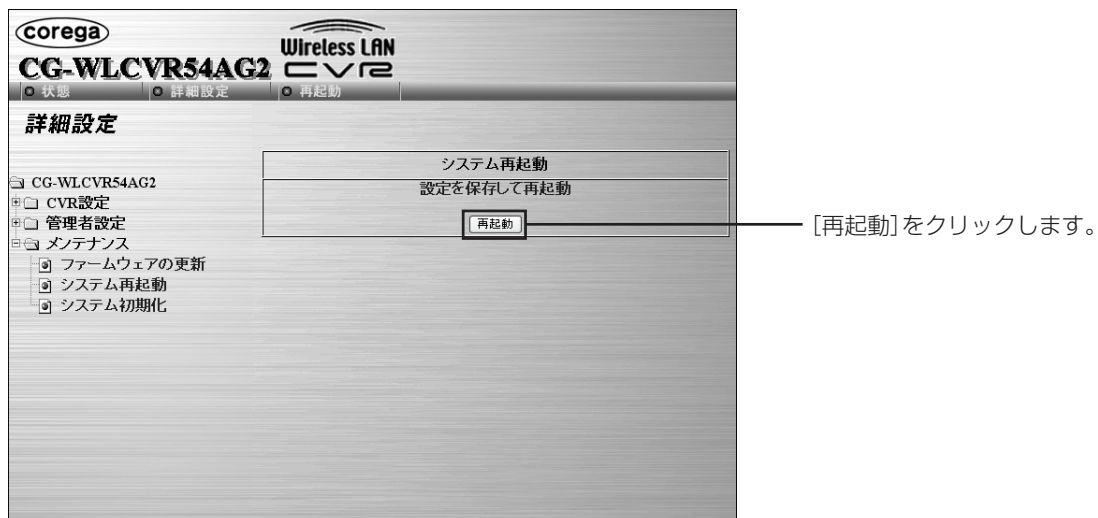
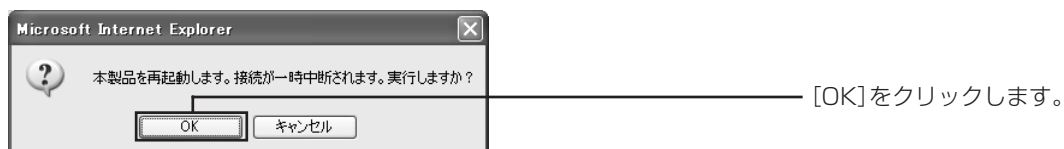
1 「詳細設定」－「メンテナンス」－「ファームウェアの更新」をクリックします。

2 更新ファイルの入力欄に最新のファームウェアの保存先を直接入力するか、[参照] をクリックして保存先を選択します。

3 しばらくすると再起動をうながすメッセージが表示されますので、[OK] をクリックして再起動をしてください。

以上でファームウェアの更新は終了です。

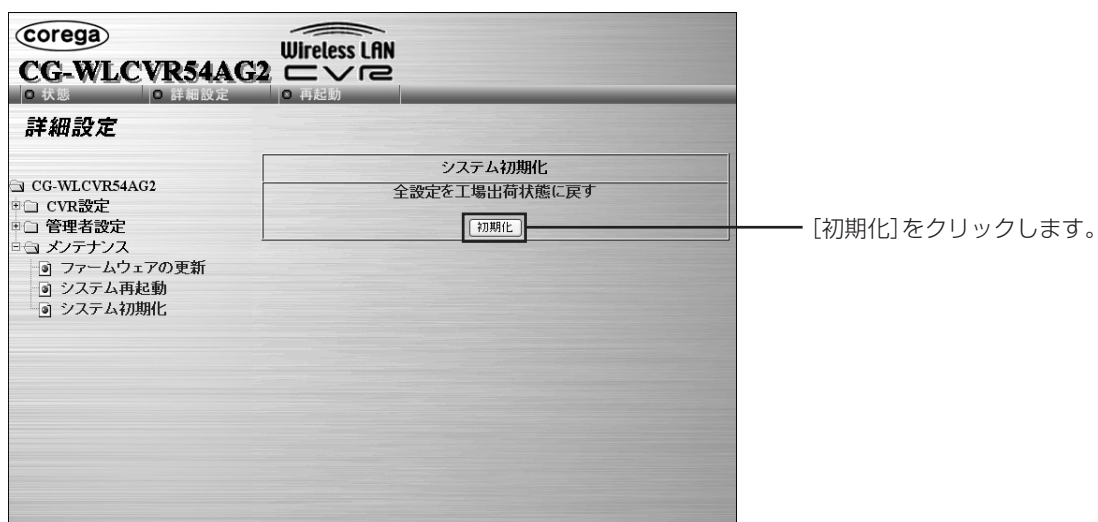
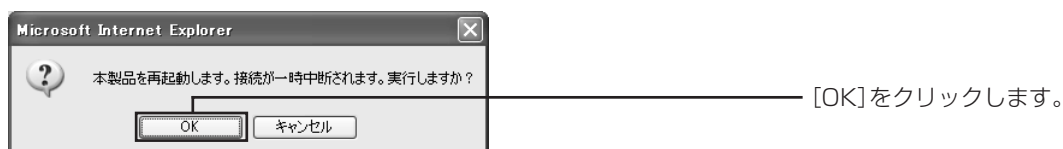
●システム再起動
本製品を再起動することができます。

1 「詳細設定」－「メンテナンス」－「システム再起動」をクリックするか、メニューバーの「再起動」をクリックし、［再起動］をクリックします。

2 「本製品を再起動します。接続が一時中断されます。実行しますか？」と表示されたら、[OK] をクリックします。

以上で再起動が完了します。

本製品の再起動中は、一時的に無線 LAN に接続できなくなります。

●システム初期化
本製品を工場出荷時の状態に戻すことができます。初期化を実行すると今まで設定していた情報がすべて無効になります。再度設定をし直してください。また、重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように控えておくことをおすすめします。また、工場出荷時の状態に戻すには、次の2つの方法がありますが、違いはありませんので、どちらを使ってもかまいません。

【設定ユーティリティを使う】

1 「詳細設定」－「メンテナンス」－「システム初期化」をクリックし、[初期化] をクリックします。

2 「本製品を再起動します。接続が一時中断されます。実行しますか？」と表示されたら、「OK」をクリックします。

【初期化スイッチを使う】

1 本製品の電源が入っている状態で、初期化スイッチを押し続け、LAN LEDが消灯したら初期化スイッチを離します。初期化スイッチはゼムクリップなど、堅くて先の細いもので押してください。

2 LAN LED が再点灯し（無線 LED も点滅します）、本製品が起動します。

以上で本製品が工場出荷時の状態に戻りました。

設定が終了したら

ここで行ったネットワーク設定は、本製品を設定するための一時的な設定です。設定用パソコンを実際のネットワーク環境で使用する場合には、本製品の設定完了後にパソコンの設定を元にもどしてください。

PART 4

トラブルや疑問があったら

本製品を使っていて「困ったな」、「うまく動かない…」と思ったときや、疑問があったときはこのPARTで解決方法を探してください。

解決のステップ

①取扱説明書を再確認する／管理者に確認する

↓（それでも解決できない場合は…）

②このPARTのQ&Aを確認する

〈トラブルは？〉
- 通信ができない
- 設定ユーティリティが起動できない
- 本製品のパスワードを忘れてしまった
- ファームウェアの更新に失敗した

↓（それでも解決できない場合は…）

③コレガのホームページの情報を活用する

↓（それでも解決できない場合は…）

④それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる

取扱説明書を再確認する／管理者に確認する

本書以外にも通信相手の機器の取扱説明書、パソコンの取扱説明書をお手元にご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本製品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、通信相手の機器の問題で正しく動作しないこともあります。

企業などで既存のネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な情報を準備してください。

Q&A

■通信ができない

●本製品とパソコンなどは正しく接続されていますか？

パソコンなど、本製品とLANケーブルで接続する機器が正しく接続されているか確認してください。本製品の電源が入っている状態で本製品の電源LEDとLAN LEDが点灯していれば正しく接続されています。

●パソコンのネットワーク設定は正しいですか？

接続するネットワーク環境に合わせ、正しく設定してください。本製品を設定したパソコンを使用する場合は、設定を元に戻してから使用してください。

●セキュリティ（ESSID、WEP、WPA）の設定は正しいですか？

通信相手の機器（アクセスポイント、ルータなど）と同じ設定になっているか確認してください。

■設定ユーティリティが起動できない

●設定用パソコンの条件は合っていますか？

「PART1 まず準備が必要」の「設定に必要な情報は準備できていますか？」（P.8）をご覧いただき、設定用パソコンの条件を確認してください。

●設定用パソコンは正しく設定されていますか？

「PART1 まず準備が必要」の「設定用パソコンの準備をしよう」（P.9）をご覧いただき、設定用パソコンのネットワーク設定を確認してください。

●プロキシサーバを使う設定になっていませんか？

Webブラウザでプロキシサーバを使う設定になっていると、本製品の設定ユーティリティが表示できません。Web ブラウザを起動し、次の手順でプロキシサーバを使用しない設定にしてください。

1　メニューから「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。

2　「インターネットオプション」画面で「接続」タブをクリックします。

3　［LANの設定］をクリックします。

4　「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面で「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。

5　「インターネットオプション」画面で［OK］をクリックし、画面を閉じます。

● Internet Explorer が「オフライン作業」になっていませんか？
Internet Explorer を起動した際に、タイトルバーに「オフライン作業」と表示されている場合は、ネットワークに対して通信が行われていないため、本製品を正常に設定できません。メニューから「ファイル」－「オフライン作業」を選択し、チェックマークを外してください。

■本製品のパスワードを忘れてしまった

「PART3　設定ユーティリティについて」の「初期化スイッチを使う」（P.34）をご覧いただき、本製品を工場出荷時の状態に戻して再度パスワードを設定し直してください。パスワードの設定方法については、「PART3　設定ユーティリティについて」の「パスワード」（P.31）をご覧ください。

本製品を工場出荷時の状態に戻すと、パスワードだけでなく、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいますので、再度設定する必要があります。また、重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように控えておくことをおすすめします。

■ファームウェアの更新に失敗した

本製品を工場出荷時の状態に戻してから、再度ファームウェアの更新を行ってください。本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、、「PART3　設定ユーティリティについて」の「システム初期化」（P.34）をご覧ください。

本製品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいますので、再度設定する必要があります。また、重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように控えておくことをおすすめします。

コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどをお知らせしています。本製品を最適にご利用いただくために定期的にご覧いただくことをおすすめいたします。

http://www.corega.co.jp/

製品に関するご質問は…

製品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際には弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または付属の「はじめにお読みください」に記載されているの必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話のいずれかでお問い合わせください。コレガサポートセンタの連絡先は、付属の「はじめにお読みください」をご覧ください。

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

2005年6月　初版